

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	津市児童発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 1日		～	令和 6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	90名	(回答者数)	57名
○従業者評価実施期間	令和 6年 11月 1日		～	令和 6年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	34名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団による手厚い支援を行います。	お子さん一人一人に担当の職員が着き、お子さんの発達の状況や特性、性格に合った支援を行っています。また、小集団にて支援を行うため、遊びや集団活動を通し相互理解や互いの存在を認め合いながらの仲間づくりにつながるよう支援に努めています。	今後も、お子さんへの支援について保護者との共通理解を深め、療育場面に活かしていきます。 また、保護者が相談しやすい関係性づくりに努め、相談内容を踏まえた適切な助言と支援を行っています。
2	親子通園のため、お子さんの家での様子や保護者の困り事等をキャッチしやすく、発達状況を迅速且つ詳細に共有することができます。相談事にも即時応じることができます。親子で通所していただくことによって、迅速なフィードバックが可能です。	支援前後のフィードバックの時間を利用し、お子さんのご家庭や園での様子の聞き取りや支援内容の情報共有を行っています。	必要に応じ家族支援を行い、保護者に対しての相談援助についても積極的に実施していきます。
3	専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士）を配置しており、一人一人の特性に合わせた専門性のある療育が実施できます。	多職種で連携しながら適切な支援を提供しています。	支援内容や専門職の質の向上を図るため、外部研修への参加や事業所内での職員研修を実施していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を実施していません。	保護者に送迎をお願いすることによって、送迎の際に直接保護者にお子さんの状況を聞き取ること等、保護者との信頼関係も大切に考えています。	利用者及び保護者のニーズをお聞きしながら、利用しやすい施設の運営に努めます。
2	地域住民を招待しての交流が行えません。	当施設が重症化リスクの高いお子さんが通う施設であり感染症予防の観点から地域住民を招待しての交流は行えません。	地域の行事に参加する等、招待以外の別の方法での地域交流を検討します。
3	外部機関（病院等）へのお子さんの検査結果や現状についての情報提供に一定の時間を要します。	当センターは、津市が運営する公共施設であるため、個人情報保護の観点から所定の手続きを経た上で情報提供を行っております。このため、情報提供に際しては一定の時間を頂戴しております。	これからも、個人情報の取扱いに十分に配慮しながら迅速に手続きを進めるよう努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 津市児童発達支援センター

公表日 令和 7年 2月 26日

利用児童数 令和 6年 9月 30日

回収数 57名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	2	0	1	・ 広くて開放的で活動しやすい施設だと思います ・ 利用していない	お子さん1人当たりの活動等のスペースは児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準以上に設けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	48	5	3	1	・ マンツーマンで見てもらえるのでありがたいです。 ・ 三重県における発達支援制度はまだまだ他府県と比べて満足いくものではないと感じています。職員の増員が将来的に可能であれば本当に必要な人もセンター利用ができると思います。 ・ 子供の人数に対して、配置が少ないと思う。 ・ 職員不足だと感じることがある。 ・ 少なく感じます ・ 担当の方以外は殆ど知らない。	職員は、児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準以上の職員を配置しています。今後もお子さんにより充実した支援が提供できるよう職員数や専門性の向上に配慮していきます。
	3	生活空間は、お子さんにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	56	0	0	1	・ 下駄箱のあたりはバリアフリーに配慮されていると感じる。	施設の設計段階で様々な障がいの特性に対応できるよう検討し、バリアフリーに配慮した整備をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	55	2	0	0	・ いつも話し合いの場ではとても生活感があるなと感じています。	お子さんが心地よく過ごせるよう清掃は毎日行っています。引き続き清潔で、心地よく過ごせる環境の維持に努めます。
適切な 支援の 提供	5	お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49	6	1	1	・ 言葉が出てきてない様子のため ・ 内容が少し簡単だと思う。 ・ つうぼっぼさんのおかげで今の療育施設にも出会うことができました。	保護者の方のニーズや、お子さんの状況に応じた、より具体的な計画となるように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	53	1	0	3		
	7	お子さんのことを十分に理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	51	3	0	3	・ 言葉のトレーニングがあれば良いと思います。 ・ 面談を担当する先生が実際に子供の様子を常に見ているわけではないので、深くは理解していないと思う。	言語訓練については、お子さんの年齢や発達状態を鑑みて開始時期を判断しております。訓練の希望や不安な点等ございましたら職員へご相談ください。また、お子さんへの支援について心配な事がありましたら気軽にご相談ください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	47	5	0	5		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	51	2	1	3	・ こういう力をつけたいと伝えてもいつも同じ内容だから。	保護者の方のニーズや、お子さんの状況に応じた、より具体的な計画となるように努めます。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	5	1	4		

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。	41	4	6	6	・現在、こども園等に通っていますが、それ以外にということですか？質問の意図が分かりません。	当質問は、通所される施設において、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会を設けているかという質問になります。 通所クラスにおいて、地域の保育所との交流や活動とともにする園外療育を定期的に行っています。今後も保育園等他機関と連携した活動機会の充実に努めます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	54	2	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	51	2	0	4		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ※5 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	11	5	14	・可能なら親向けの研修等があるのかなと思います。	2歳児（母子通所）と5歳児（年長）の保護者を対象に、それぞれ交流会を開催しています。2歳児の交流会では子育てに関する情報の共有をテーマに、5歳児の交流会では就学準備をテーマにしています。各交流会は、子どもの成長段階に応じた内容となっていますので、お子さんが対象の年齢を迎え次第、ご案内させていただきます。
	15	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	52	4	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	11	3	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	2	0	1		
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	10	7	21	・通所クラスはよかったが、発達クラスではイベントがなく、もう少しそういう機会があればいいと思います。	発達クラスは、保育所等に通いながら通所されるお子さんもいらっしゃいますので全員揃ってのイベントなどは行えませんが、いただいたご意見を参考に今後の課題として検討します。
	19	お子さんや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	49	3	0	5	・いつも助けていただいています。	引き続き、お子さんや保護者からの相談や申し入れには迅速かつ適切に対応していきます。
	20	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者に対して発信されていますか。	22	12	3	20		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	6	2	15	・発生を想定した訓練が実施されているかはわかりません。 ・事業所は子供はほとんど利用してません	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保健だよりや掲示板で周知するとともに、防犯対策として終了時に施錠確認、年に1回不審者対応訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	5	2	22	・必要な訓練が行われているかわかりません。	月1回、避難訓練を行っています。多くのお子さんと保護者が参加できるよう、曜日や時間帯を工夫します。
	25	事業所より、お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	45	5	1	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	42	2	0	13	・事故・怪我がまだないのでわかりません。	引き続き、事故が無い状況が続くよう支援に努めます。
	27	お子さんは安心感をもって通所していますか。	55	1	1	0	・子供が通園を楽しみにしているので職員の対応が良いと思います。 ・つうぽっぼさんには通ってません。	今後もお子さんが安心感をもって通所していただける施設であるように努めます。

満足度	28	お子さんは通所を楽しみにしていますか。	55	0	2	0	・毎回楽しみにしてくれています。 ・毎週楽しみに通っています。 ・つうぽっぽさんには通ってません。	今後も通所を楽しみにしていただける施設であるように努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	54	3	0	0		

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日				
津市児童発達支援センター		令和 7 年 2 月 26 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室等のスペースは、定員以下の少人数クラス（概ね3～5人）で利用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設の設計段階で様々な障がいの特性に対応できるよう検討し、バリアフリーに配慮した整備をしています。 情報伝達は、職員からの口頭・文書による伝達だけでなく掲示板を活用しています。 また、室内装飾を少なくするなど、支援環境を整備することで、子どもが心地よく過ごせるよう配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用者の方が清潔で、心地よく過ごせるよう清掃は毎日行っています。 また、感染症対策を徹底するため、換気や消毒をクラスの入れ替え時に毎回行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別に言語訓練等を行える部屋を複数用意しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全体・発達クラス・通所クラス毎の会議を毎月行い、支援内容等について、PDCA サイクルによる業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回、保護者等向け評価表及び職員向け評価表作成のための調査を実施し、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員全体・発達クラス・通所クラス毎の会議を毎月行い意見交換、情報共有の上、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は実施しておりません。	今後の課題として検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県や他施設、医療機関が主催する研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて支援プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、より良い児童発達支援計画を作成できるよう努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で意見交換、情報共有をした上で作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画に沿った支援を行い、児童発達支援管理責任者の確認の下、定期的な評価を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じ、発達検査（新版K式発達検査2020）を指標とし、子どもの状況把握に活用しています。	

	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、チームのリーダー及びサブリーダーが連携して立案しています。	
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		各プログラムが固定化しないよう、児童の個々の発達・興味に合わせて実施し、内容の評価を行ったうえで次回の支援内容に活かしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、子どもの状況に応じて作成しています。また、個別活動については、友達との関わりも視点に入れて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に、担当クラスで支援内容や役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援提供毎にクラスを担当する職員間で、振り返りや気付いた点の情報共有を行っています。また、支援記録を作成し、施設内での情報共有に活用しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援提供毎に支援記録を作成し、施設内での情報共有を図るとともに支援の振り返りを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画に基づく目標に対する評価を実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援に関して専門的な知識・経験を有する児童発達支援管理責任者が、その子どもの状況を十分把握した上で参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		母子保健の関係機関である保健センターや子ども・子育て支援を行うこども家庭センター等、関係機関と連携し、支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ、保護者の了解のもと、支援内容の提供を行い、情報共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ、保護者の了解のもと、支援内容の提供を行い、情報共有と相互理解を図っています。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		県や他施設、医療機関が主催する研修会等に積極的に参加するほか、サービス担当者会議への参加により、他機関から助言を受けるなど、連携を図っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		専門機関等が主催する研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上を図っています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域の子ども・子育て会議に参加しています。	
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の保育所との交流や活動をともにする園外療育を定期的に行っています。	

	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		当施設は親子で利用していただく「親子通所」での利用を基本としているため、逐次、子どもの発達の状況や課題について保護者との情報交換を行い、共通理解を持つよう努めています。	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		就学前相談会の開催や2歳児の保護者に対して子育て支援の場を設ける等、定期的に家族支援の機会を設け、家庭療育へ繋げています。また、家族支援の視点から保健だよりにおいて情報提供しています。	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に重要事項、運営規定、利用者負担金を説明し、了解の上、署名をいただいています。	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者には聞き取りにより意向を確認し、子どもには日々の関わりの中で意向確認を行っています。	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		利用開始時に児童発達支援管理責任者から、「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容を説明し、同意をいただいています。	
保護者への説明等	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に随時応じ、必要な助言や支援を行っています。	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会等を開催し、保護者同士の連携を支援しています。	
	39	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		施設の利用契約時に相談や申し入れの窓口の説明を行っているほか、いつでも相談や申し入れができることを案内し、迅速かつ適切に対応する体制を整えています。	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		クラスだよりや保健だよりを毎月発行し、情報を発信しています。また、卒園式などの行事等を実施する場合は、毎月のたよりとは別に文書で保護者へ周知しています。	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を含む文書は、あらかじめ保管場所を決め、施錠の上管理しています。また、口頭においても全職員が注意して取り扱っています。	
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの特性を把握し、配慮しています。保護者との意思の疎通や情報伝達については、通所時（送迎時）の機会を活用し必要な情報をお伝えしています。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事については、当施設が重症化リスクの高い子どもが通う施設であることから参観を制限し開催しましたが、インターンシップの学生の受け入れや地域の防災訓練への参加、地域行事の際の駐車場開放等、地域に開かれた事業運営に努めています。	
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定して職員へ周知しています。保護者への周知は、保健だよりや掲示板で周知しています。	
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、年1回全職員を対象に研修を実施しています。また、月1回、避難訓練を行っています。多くの子どもが参加できるよう、曜日や時間帯を工夫しています。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者に聞き取りを行い、記録しています。	

非常時等の対応	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事提供は行っておりません。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を基に、施設点検や避難訓練等を行い子どもの安全確保に努めています。	
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		新規契約時や面談等を通して共有、確認していただき、実際に避難訓練等に参加いただいています。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例について会議で話し合うとともに、報告書の作成により情報共有を図っています。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員を対象に庁内講師による研修を行っております。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束等を行う場合は、検討委員会で決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しています。	